

大塚先生コラム

世間はコロナウィルス感染で騒がしいようですが、これに関してはまだ判明していない事柄も多く、マスク・手洗い・うがいをしっかりしていただくという、感染対策の基本を行ってください。

卒業、入学の時期に多くなる自家中毒について、少し話をしましょう。自家中毒とは、ケトン血小板嘔吐症・周期性嘔吐症などと言われ、かぜ(感染症)や疲労、過度の緊張などが誘因となり、顔色不良、嘔気、嘔吐、腹痛を訴えます。10歳未満に多くみられます。これは本来、エネルギー源にすべきブドウ糖がうまく利用されず、体内の脂肪をエネルギー源とする代謝状態となってしまう、そこで溜まってくる血中ケトン体が増加すると嘔気、嘔吐がおこります。水分、糖質の補給で回復しますが、自力でできないと点滴による補給となります。なりやすい人と、全くならない人がいるのも特徴です。

小児科外来より

2月の小児疾患をお知らせします。インフルエンザA型罹患者は、1月より減少していました。インフルエンザB型罹患者がいましたが、大きな広がりはありませんでした。胃腸炎にかかる子が数名見られました。さまざまな感染予防のため、手洗い・うがいを徹底しましょう。

病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです
(受入れ人数一日3人) 2020/02/01~2020/02/29

	0~1	2~3	4~6	学童	合計
能代市	12	10	7	1	30
山本郡	0	3	0	0	3
その他	0	0	0	0	0
合計	12	13	7	1	33



感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

・爪は短く切っておきましょう。・指先や指間は外しておきましょう



石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車やバス、学校など人が集まるところではやろう



正しいマスクの着用



詳しい情報はこちら



作品紹介



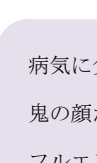
Y4歳



U8歳



H1歳



F1歳

病気に負けない、つよーい鬼の顔が出来ました。インフルエンザ、バイバイ～

今月はかすみの飾りをつくります



独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22 3階ナースステーション隣り

T E L (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス happy@akita.jcho.go.jp ※メールでの予約対応はいたしません